

浅田レディースクリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることに同意されない場合は、当院 WEB サイト「当院における研究活動について」から署名をお願い致します。

研究課題名	ヒト胚発生における細胞内オルガネラと胚発生機能の機能解析
研究責任者	浅田 義正
(多機関共同研究の場合) 共同研究機関の責任者	共同研究機関名：秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻 機能展開医学系 産婦人科学講座 共同研究責任者：寺田 幸弘（研究代表者）
研究の目的	<p>1) 不妊症のため、当院にて体外受精を行っている患者さまの受精卵で、胚移植が不要となった胚と、余剰受精卵として患者さまが凍結を希望しなかった廃棄受精卵、余剰受精卵として凍結保存されたものの凍結期限を過ぎてしまった廃棄受精卵、多胎防止の移植胚数制限などによって解凍後に移植されなかった受精卵を用います。</p> <p>2) 上記で得た受精卵を用いて、胚盤胞成熟過程における細胞骨格形成、あるいは発生に関与するファクターの形態的、生化学的、および染色体異数性に関する検討を行います。</p> <p>具体的にはタイムラプス・インキュベーターでの受精卵発育挙動の観察・細胞内オルガネラに対する特異的蛍光プローブによる動的観察・受精卵の蛍光免疫染色・電気泳動等を用いて、受精卵の発生能に関与するタンパクの発現および細胞内オルガネラの動態について、胚の発育段階やグレードその他による差異を比較・検討します。</p> <p>加えて、次世代シーケンサーを用いて受精卵の染色体異数性を解析し、長期培養によるモザイクを含む染色体構成の時間的変化、発育挙動との関連を検討します。</p>
研究期間	2014年4月1日～2025年3月31日
研究の方法	<p>■対象となる方 2014年4月1日～2025年3月31日に当院で行われた体外受精において、凍結を希望しなかった受精卵、および凍結をした受精卵のうち、凍結中止の同意書が送付された受精卵がある患者さま</p> <p>■利用する試料 受精卵</p> <p>■利用する情報 診療録・診療記録</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	受精卵の提供については、医療用検体移送を専門に行っている株式会社メディトランセに依頼し、温度管理を徹底した輸送を行います。情報は匿名化し、電子的配信にて送付します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は論文発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-6-17 名古屋ビルディング 5階 医療法人浅田レディースクリニック 法人部 担当者：衣川智樹 (キヌガワトモキ) TEL： 052-551-2251 Email： t_kinugawa@ivf-asada.jp</p>
<p>備考</p>	